



新潟大学理学部と佐渡市教育委員会が連携協定を結びました

新潟大学理学部
佐渡市教育委員会
連携協定調印式



3月28日に佐渡市教育委員会と新潟大学理学部の連携協定調印式が行われました。

調印式には、白杵國男教育長と谷本盛光理学部長が出席し協定書を交わしました。

この連携協定を機に、佐渡を活動の拠点とする中で市内小・中学校および高校での出前授業や教員研修、達者にある臨海実験所とのさらなる連携、日本・世界ジオパーク認定に向けた調査や普及活動の協力など幅広い教育分野での発展に繋がることが期待されます。

佐渡市教育委員会は、このほか新潟大学の人文学部と付属図書館と連携協定を結んでいます。

交通事故を無くし、安心・安全の島に

4月6日から15日は春の全国交通安全運動期間です。その期間中にあたる11日、おんでこドームで街頭広報の出発式が行われました。

出発式には、佐渡市交通指導員、交通安全協会、佐渡西・東警察署、湊保育園園児らが参集し、園児から「急に飛び出さないように気をつけます。」と元気いっぱい誓いの言葉が発表されました。

また、車両の出発時には、色とりどりの風船を飛ばすなどして、式を盛り上げていました。



羽茂地区「おいらん道中 in 桜まつり」

今年で16回目を迎える「おいらん道中 in 桜まつり」が4月15日、羽茂本郷で開催されました。

晴天の中、鮮やかな衣装をまとった美しいおいらん姿や可愛い参加者に、見物客は満足した様子で見入っていました。

地元有志から始まったこの祭り。もともと実行委員会会長の斎藤さんが各地のおいらんまつりを見て、同地区でもできないかと提案したのがきっかけ。祭り当日、赤いはっぴ姿で場内を巡る斎藤さんは「今後も地域活性化のために続けて行きたい。」と、にこやかに話してくれました。

今年もきれいに咲きますように

4月15日、願で大野亀カンゾウ定植作業のボランティア活動が行われました。

佐渡両津海府観光協会の主催で、当日は内海府小・中学校、(株)本間組、JA佐渡女性部、地域の方々など約100名が参集しました。

大野亀は、毎年6月のカンゾウ満開時に多くのカメラマンや観光客、家族連れでにぎわう佐渡の有名な観光スポットのひとつです。

こうした地道な保護活動によって、今年も多くの人に感動を届けてくれることと思います。

なお、カンゾウ祭りは6月10日(日)の予定です。

